聖学院大学 公開イベント in 桶川

対象 一般

コロナ禍は日本文化に何をもたらしたのか

村上春樹と短歌 • 推し活（お） • VTuber（ブイチューバー）

講師
清水 均

横須賀生まれの横浜育ち。上智大学、同大学院で学び、女子聖学院短期大学、聖学院大学で 32 年間専任として奉職。現在聖学院大学名誉教授。専門は近現代文化、近現代文学。大学では日本のポップカルチャーや近現代文学読解、文学と絵画の関係などを担当。『作家の自伝 106 田宮虎彦』（日本図書センター）、『現代女性作家読本』（鼎書房）所収の「笙野頼子」「よしもとばなな」「恩田陸」「角田光代」「坂東眞砂子」、「文藝別冊・相田みつを」（河出書房新社）所収の「「感動」のゆくえ－相田みつをから浜崎あゆみへ－」等の論考がある。現在あいみょんを愛好中。

文化を「人々の生活様式の総体」と捉えるならば、「コロナ禍」は「文化」に大きな変化をもたらしました。その時、私たちは孤立し、否応なく自分自身と向き合う時間を過ごしつつも、「短歌投稿」「推し活（お）」「VTuber（ブイチューバー）」など、既存のコンテンツを活用することで、「自己表現」と「他者と繋がること」に新たな可能性を見出しました。ところで、村上春樹はコロナ禍に「壁に囲まれた街」と「現実世界」という並行世界を『街とその不確かな壁』という小説で描きました。この世界が示す「生き方の可能性」は、コロナ禍を経た私たちが見出した「新たな可能性」に重なって見えます。この講演会では、その「可能性」について、考えてみたいと思います。

2023年 9月9日（土）

時間 13:30～14:30　定員 30名　無料（要事前申し込み）

場所 OKEGAWA honプラス+ イベントスペース（おけがわマイン3階）

申込・受付期間 8月5日(土)～（受付時間10:00～21:00）

おけがわマイン3階 桶川市立中央図書館

電話 048-786-6353 または図書館カウンターにて

※定員になり次第、受付を終了いたします。

コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

参加時のマスク着用は参加者の自主判断にお任せいたしますが、念のため、マスクをご持参ください（場合によっては着用をお願いするケースがあります）。ご協力をお願いいたします。

OKEGAWA hon プラス+

おけがわマイン 3F

〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-2

OKEGAWA honプラス+ イベントスペース

お問合せ先 048-786-6353 桶川市立中央図書館

主催：OKEGAWA hon プラス+ 運営協議会（桶川市・株式会社 新都市ライフホールディングス・丸善雄松堂株式会社）